

株式会社内田洋行

東京都中央区新川
2丁目4番7号
www.uchida.co.jp/

「SEが答えを見出しにくい課題に取り組むとき、多様なスキルや経験を持った関係者とコラボレーションする必要があります。CompTIA認定資格を取得する過程で得た知識が共通の言葉のような役割を果たして、バックボーンの異なるメンバーの力を結集し課題解決に役立つものと期待しています。」

上席執行役員
システムズエンジニアリング事業部
事業部長 白方 昭夫 様

導入のCompTIA認定資格

- CompTIA Network+
- CompTIA Security+
- CompTIA Cloud++
- CompTIA Project+

CompTIA日本支局

東京都千代田区神田三崎町
3-4-9 水道橋MSビル7F
www.comptia.jp

CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるため、「教育」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

文教、自治体、民間企業の全てのお客様に、システムズエンジニアリングによる価値提供を実現する

システムズエンジニアリングの実現を図るためのコモンセンスとして、CompTIA認定資格を導入

取得対象者

システムズエンジニアリング事業部 200名
1年次～8年次のSE

取り組みの背景

内田洋行グループは、110年の歴史で培った多様なお客様とのお取引関係と、ICTと環境、民間と公共のビジネスがバランスよく構成されるユニークな事業構造を土台として、2020年以降に想定される社会・産業構造変化にともなう新たな社会ニーズにむけて、事業の再構築に取り組んでいます。

そのICT事業の中核をなす「システムズエンジニアリング事業部」では、様々な専門領域で活躍するSEが集結し、それぞれの多様な価値を考慮しつつ、お客様への全体最適を実現するためのアプローチを推進しています。その推進にあたっては、専門領域に特化したスキルの習得に集中してしまい、シナジーを得るまでに至っていない点が課題になっています。

【システムズエンジニアリングのコモンセンス】

「テクノロジー」「メソドロジー」「プロジェクトマネジメント」の共通領域の知識習得により、システムズエンジニアリングの実現を図るためのコモンセンスを築きます。そのうち「テクノロジー」「プロジェクトマネジメント」において、CompTIA認定資格の取得により、知識習得を図ります。



CompTIA Network+は、ネットワーク技術に携わる職種において、実務上共通して必須となるネットワークの構成、運用、トラブルシューティング等のスキル、さらにセキュリティに関連するスキルを評価する認定資格



CompTIA Security+は、セキュリティ概念、脅威や脆弱性、ツール、対応手順に関連するスキルや、セキュリティインシデントの発生を予防するため定期的に実施されるべき運用手順などのスキルを評価する認定資格



CompTIA Cloud+は、クラウドの運用やサービスの提供など、クラウド環境で業務を実行するITエンジニアが必要とされるスキルとベストプラクティスへの理解を評価する認定資格



CompTIA Project+は、小規模から中規模プロジェクトを遂行する際に必要とされる知識を体系的に学習することができ業界を問わずプロジェクトマネジメントに必要な標準知識とベストプラクティスに基づく実務能力を評価する認定資格

取り組み

■ 「テクノロジー」「プロジェクトマネジメント」

- 1, 2年次 基礎及びネットワーク (CompTIA IT Fundamentals, CompTIA Network+) の取得
- 3～8年次 セキュリティ (CompTIA Security+)、プロジェクトマネジメント (CompTIA Project+)、クラウド (CompTIA Cloud+) の取得

※ 5～8年次は職種に応じて、本人が関わるサービスやプロダクトに応じて公的資格やベンダー系資格の取得を中心に、CompTIA認定資格取得後のスキル向上を考える。

※ 4～8年次にはCompTIA Project+で取得した後、「ワークショップ型実践研修」や「OJT」を通じ、より実践的なスキル習得を行う。

■ 「メソドロジー」

- システムズエンジニアリングで提唱されているモデル化や抽象化、アジャイル等のメソッドのいくつかを具現化し教育
- 管理フレームワークの各テーマについての考え方や実践的な方法論について教育

- 9年次以降には全世代もしくは世代別/キャリア別に、「ワークショップもしくは勉強会を実施
- 「目的ある」ジョブローテーションの実施。異なる環境での経験を「意図的に」積ませる

「当社の「ICT人材育成マップ」では特に入社8年次までを「育成人材」と位置づけ、テクノロジー、メソドロジー、プロジェクトマネジメント、業務スキル、パーソナルの5つのカテゴリーに分類し計画的かつ実践的な人材育成を行っています。CompTIAは特定のベンダーに偏重することなく、網羅的かつ必要十分な基礎知識を習得できる点で非常に優れており、現在はテクノロジー、プロジェクトマネジメント分野における研修コンテンツとして活用を進めています。」

システムズエンジニアリング事業部
SE企画管理部
部長 川手 真史 様

CompTIA®